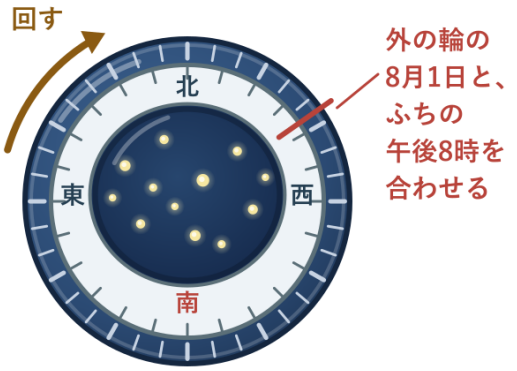
星座早見の使い方

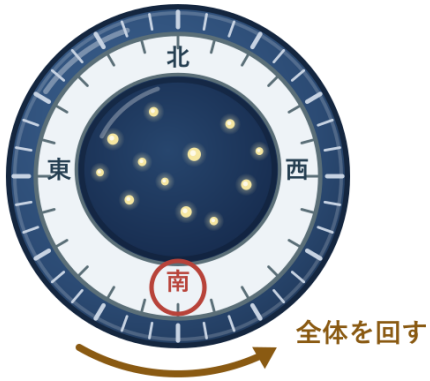
星座早見を使って、観察する日時に見える星座をさがすには、どうすればよいだろう

1 月日と時こくを合わせる



月日の目もりと時こくの目もりを
合わせる（例：8月1日 午後8時）

2 見る方位を下にして持つ



南の空を見るときは、「南」の
文字が下になるように持つ

3 頭の上にかざし、空と見くらべる



南を向いて頭の上にかざし、
星座早見と空の星を見くらべる

✕ よくない例：方位を合わせずに見る



南を向いているのに「北」を下にして
持つと、星座早見の星の位置が空と
ちがって見え、星座が見つからない。

✓ 方位は方位磁針でたしかめる



どちらが南かを方位磁針で
たしかめてから、星座早見を
その向きに合わせる。

! 夜の観察の約束

夜の観察は、大人といっしょに行う。安全な場所を選び、車や足もとに気をつける。
かい中電灯に赤いセロハンをはると、星座早見を見たあとも、暗い空の星が見やすい。

※ 模式図。星座早見の形・目もり・合わせ方は製品によってちがう。完全な操作手順ではない。日時は例。